

今回は、久しぶりに各県 AALA の機関紙の紹介特集です。愛知 AALA 機関紙の記事から 1 本、京都 AALA の記事から 1 本紹介します。

A) 愛知県 AALA 機関紙 2023 年 3 月 1 日号より

猿田佐世さん講演「米中対立」と日本の進路...世界を知って日本を変える」 要旨

2 月 5 日愛知民主会館にて、第 39 回愛知県 AALA 総会記念として、「米中対立」と日本の進路...世界を知って日本を変える」と題して、新外交イニシアチブ代表の猿田佐世さんの講演がありました。

事務局長 新谷清美さんの書かれた要旨を紹介します。

ウクライナ戦争からの教訓

- ・一度大国が戦争を決定したら 何をしても止まらない可能性がある。
- ・とにかく重要なのは、戦争をさせない環境づくり

日本の置かれている状況

- ・日本一国では戦争になるわけではない。
- ・日本が中国と戦争になるとすると、米中紛争である台湾有事に巻き込まれたときのみ。

安保三文書改定

- ・敵基地攻撃能力 「反撃能力」の保有 国際法違反の先制攻撃のおそれ / 憲法・専守防衛からの逸脱
- 防衛費の倍増 2027 年に GDP 比 2% 2022 年日米首脳会議で増額伝達
- ・「防衛力そのものとしての防衛生産」

米軍と自衛隊の一体化加速

- ・日米首脳会談 共同声明 (1 月 14 日) 三文書改定歓迎、2020 年から半世紀ぶりに「台湾有事」と記載

同盟国頼りの米国

- ・力を落とす米国の主たる対中 戦略は同盟国との連携
- ・「統合抑止」=同盟国に軍事力強化を促し、自国の抑止に組み込む

安保三文書改定の意図

- ・国家安全保障戦略

「インド太平洋地域において、日米の協力を具体的に深化させることが、米国のこの地域へのコミットメントを維持強化する上で死活的に重要」

二つの愚かさ

愚かさ 1 自分たちへの影響を語らない愚かさ

【人的被害】

・防衛研究所報告 中国は非常に精密な攻撃能力。被害は米軍・自衛隊使用の飛行場や港湾に収まり、民間人が巻き込まれることはほとんどないだろう。被害のシミュレーションをしていない。

【経済的断絶】

全貿易中、日中貿易は4分の1、日本の中国に対する経済制裁は無理。

・台湾有事の前に経済制裁が先行する。すると、全国民の生活が根本的に破壊される。

・日本のどんなタカ派も中国への経済制裁は考えていない。

愚かさ 2 中国に軍事力のみで対抗しようとする愚かさ

【日本編】

・防衛予算を2倍にしても、中国の5分の2。2022年GDP比で中国は日本の4倍。

【同盟国編】

・アメリカが台湾有事で介入するとは限らない。

アメリカがウクライナ戦争に介入しないのは、ロシアが核兵器保有国・軍事大国だから。そして、第三次世界大戦になるから。

・アメリカが台湾有事に参加するか。相手が中国ではやらない。中国も核兵器保有国・軍事大国だから。

・「もし中国が台湾侵攻したら、あなたの国はどうすべきか？」(NATO 諸国14カ国調査)

何もしない: 12%、紛争解決のための外交: 35%、経済制裁: 32%

政策提言・戦争を回避せよ

台湾有事を回避するため、今から展望をもった外交を

・米国の「日本の基地を自由には使わせない」と政府に言わせたい。(直接出撃は事前協議の対象である。)

・「国として台湾に入れ込むな」と言いたい。台湾に対しては、過度な分離独立の姿勢をとらないように説得する。

・中国に対しては、台湾への安易な武力行使は国際的な反発が、中国を窮地に追い込むことを諭す。日本は台湾の一方的独立は支持しないことを示し、自制を求める。

・アメリカが中国を挑発しているが、日本としては、「やめてくれ、死ぬのは日本人だからね。」と言いたい。

日本外交のモデルに、米中対立の主戦場 東南アジアを

・ASEAN 外相会議(2022.9) のメッセージ

「ASEAN は地域の平和と安定 を脅かす争いにはとらわれたくない。」

Don't make us choose.

・シンガポールリー・シェンロン首相がフォーリンアフェアーズに投稿。

「アジア諸国は、アメリカはアジア地域に死活的に重要な利害を有する『レジデントパワー』だと考えている。だが、中国は目の前に位置する大国だ。アジア諸国は米中のいずれか一つ選ぶという選択を迫られることを望んでいない。」

アメリカにショックが走った。

ASEAN を大事にし始めた中国。

・フィリピン ドゥテルテ大統領 2020 年 2 月に訪問米軍地位協定(VFA)の破棄通告 6 月破棄保留 7 月破棄撤回。

宣言しただけ。アメリカ・中国からは一目置かれた。安上り。

・僕に戦争をしてほしいというなら大統領をやめます。中国には勝てないから。

中国「じゃあ、漁場を提供してやろう」

ASEAN のしたたかな外交。

まとめ

外交におけるカギは、アメリカ に対し、米軍基地は自由に使わせないよ。事前協議のときノーと言うかもしれないよとつきつけることだと思う。ぜひ、このように AALA もやっていただきたい。あとは、東南アジアにモデルをおいて、中国と一定の関係を保ち、アメリカとも一定の距離をとって外交することだと思う。

Don't make us choose. である。

最後に、日本の声をアメリカにきちんと伝えていきたい。こういう活動を続けていきたいので会員になって支えていただきたい。

AALA にとって、ぴったりの講演でした。会員 19 名、非会員 26 名の参加でした。

事務局長 新谷清美